

スリランカは熱帯性モンスーン気候で、雨季と乾季が訪れる。だが熱帯性にしてはわりと過ごしやすく、気温は年間を通して2～3度の差で、あまり変化がない。ただし昼間の日差しはかなり厳しく、活動するのも日差しが弱くなってからである。

住民の大半を仏教徒が占めている。スリランカの治安は一部のエリアを除きおおむね良い。食事は1日3食カレーが基本。しかし残念なことにスリランカでは内戦が続いており、首都やその近くでは自爆テロが頻繁に起こっています。

ここスリランカでは夕方になると子供達が、外に出てグラウンドでサッカーやクリケット、バレーボールなど夜遅くなるまでスポーツを楽しんでいます。貧しい家庭の子も多く、ほとんどの子供達は裸足で駆け回り、擦り切れた服で自分達で作ったバットやネットを使い、それぞれのスポーツを行っている。しかし、ほとんどの子供は男の子で、女の子は家におりあまりスポーツをする習慣がありません。

私のテニスクラブに来る子供達も大変元気で、少し目を離すと、皆で歌を歌ったり、踊ったりして大騒ぎしています。性格も底抜けに明るく、厳しい練習中でも笑顔が絶えません。ボールを打つ足腰も力強く、他の国の子供達と比べても引けをとらず、とても負けず嫌いです。試合中はとても真剣です。しかしひとたび試合が終わるとまたいつもの笑顔に戻ります。

スリランカのような発展途上国では貧富の差が激しく、貧乏な子供達にとってテニスラケットは非常に高価で手が出せません。シューズもラケットも買えない彼らは毎日夕方テニスコートのフェンスの外からうらやましそうに練習を見えています。今後の私の活動はこういった子供達にもテニスができるチャンスを与える活動を行っていく予定です。

